

[夷隅感染症情報]（2021年 第8報）

2021年第29週 ～ 2021年第34週（R3年 7/19 ～ R3年 9/5）

9月9日より新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が9月30日まで延長されました

県民の皆様へ

- 不要不急の外出自粛を徹底 ～昼夜を問わず、徹底！～
- 基本的な感染対策を徹底 ～会話するときはマスクを着用～
「3つの密」を徹底的に避けるとともに、「人と人との距離の確保」「マスクの着用」「手洗いなどの手指衛生」等の基本的な感染対策を行ってください。
- 飲食時の注意 ～昼夜や場所を問わず黙食・少人数で～
- カラオケの利用の際の注意 ～歌唱中のマスクの着用、マイク等の消毒～

事業所の皆様へ

- 職場での対策 ～出勤者数の7割削減～
感染防止のための取組（マスクの着用、手洗いや手指消毒、咳エチケット等）のほか、時差出勤や在宅勤務（テレワーク）、昼休みの時差取得等を促進してください。

感染が心配な時は、・・・

- 発熱等の症状を感じたら、日ごろ通院している医療機関か、お住まいの近くにある医療機関に、まずは電話で御相談ください。（医療機関を受診する際は、必ず電話等で事前予約してから受診してください。）
- なお、県ホームページでは、地域毎に相談窓口の電話番号（コールセンター、市町村、発熱相談医療機関）を掲載しています。

◎千葉県発熱相談コールセンター

（電話番号） 0570-200-139

（対応時間） 24時間（土日・祝日を含む）

◎夷隅保健所（夷隅健康福祉センター）での相談

（電話番号） 0470-73-0145

（対応時間） 平日 8:30～17:15

「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント

（1） マスクの着用について

マスクを着用していない場合と比べると、心拍数や呼吸数、血中二酸化炭素濃度、体感温度が上昇するなど、身体に負担がかかることがあります。そのため、高温や多湿といった環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなるおそれがあるので、**屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、マスクをはずす**ようにしましょう。

マスクを着用する場合には、強い負荷の作業や運動は避け、**喉が渇いていなくてもこまめに水分補給**を心がけましょう。

（2） エアコンの使用について

熱中症予防のためにはエアコンの活用が有効です。ただし、一般的な家庭用エアコンは、空気を循環させるだけで換気を行っていません。新型コロナウイルス対策のためには、**冷房時でも窓開放や換気扇によって換気を行う**必要があります。

（3） 涼しい場所への移動について

少しでも体調に異変を感じたら、速やかに涼しい場所に移動することが、熱中症予防に有効です。一方で、人数制限等により屋内の店舗等にすぐに入ることができない場合もあると思います。その際は、**屋外でも日陰や風通しの良い場所に移動**してください。

（4） 日頃の健康管理について

「新しい生活様式」では、毎朝など、定時の体温測定、健康チェックをお願いしています。これらは、熱中症予防にも有効です。**平熱を知っておくことで、発熱に早く気づく**こともできます。

1 新型コロナウイルス感染症について ＜千葉県ホームページより＞

1) 千葉県内で確認された感染者数 (令和3年9月20日15時現在)

陽性者数(累積) ()内は新規感染者	現在の感染者数	退院・療養終了	死亡
98,471(157)	3,358	94,139	974

2) PCR 検査実施状況 (令和3年9月16日現在)

累積検査実施人数 (陰性化確認検査を除く)	直近1週間の検査人数	直近1週間の陽性者数	直近1週間の陽性割合(%)
1,023,263	22,245	2,572	11.56

2 管内の感染症発生状況

管内では、第30～31週に2例のつつが虫病の発生届がありました。新型コロナウイルス感染症は、管内の医療機関から管外居住者分も含めて、第29週～第34週までに277例の発生がありました。

● 管内の全数把握感染症情報 ● <類別・疾患別集計表>

区 分	29週～34週	累計(2021年発生分)
1類感染症	0	0
2類感染症		
結核	0	10
3類感染症	0	2
4類感染症 (※管内居住の患者数)	2	14(つつが虫病11 E型肝炎1) (日本紅斑熱1 レジオネラ症1)
5類感染症 (※管内医療機関からの届出数)	0	0

● 管内定点把握対象疾患 ●

疾患名 (インフルエンザ及び小児科定点疾患)	2021年 1週～34週 の累計	直近5週の届出数				
		30週	31週	32週	33週	34週
1 インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び 新型インフルエンザ等感染症を除く)	1	0	0	0	0	0
2 RSウイルス感染症	5	0	1	1	0	0
3 咽頭結膜熱	8	0	0	0	0	0
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20	0	0	0	0	0
5 感染性胃腸炎	15	0	2	0	1	0
6 水痘	6	0	0	0	0	0
7 手足口病	1	0	0	0	0	0
8 伝染性紅斑	1	0	0	0	0	0
9 突発性発しん	5	0	0	0	0	0
10 ヘルパンギーナ	5	0	1	1	0	1
11 流行性耳下腺炎	2	0	0	0	1	0

<参考>夷隅健康福祉センター管内の定点医療機関は、

インフルエンザ定点 : 5 医療機関

小児科定点 : 3 医療機関

の協力を得ています。

3 県内の感染症発生状況 (出典:千葉県感染症情報センター 2021年第35週 週報より)

一類感染症	今週	累計(年)
エボラ出血熱	0	0
クリミア・コンゴ出血熱	0	0
痘そう	0	0
南米出血熱	0	0
ペスト	0	0
マールブルグ病	0	0
ラッサ熱	0	0

二類感染症	今週	累計(年)
急性灰白髄炎	0	0
結核	18	599
ジフテリア	0	0
重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0
中東呼吸器症候群(MERS)	0	0
鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0
鳥インフルエンザ(H7N9)	0	0

三類感染症	今週	累計(年)
コレラ	0	0
細菌性赤痢	0	1
腸管出血性大腸菌感染症	1	84
腸チフス	0	0
バラチフス	0	0

四類感染症(その1)	今週	累計(年)
E型肝炎	1	22
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)	0	0
A型肝炎	0	3
エキノкокクス症	0	0
黄熱	0	0
オウム病	0	0
オムスク出血熱	0	0
回帰熱	0	0
キャサナル森林病	0	0
Q熱	0	0
狂犬病	0	0
コクシオイデス症	0	0
サル痘	0	0
ジカウイルス感染症	0	0
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	0	0
腎症候性出血熱	0	0
西部ウマ脳炎	0	0
ダニ媒介脳炎	0	0
炭疽	0	0
チクングニア熱	0	0
つつが虫病	0	22
デング熱	0	2
東部ウマ脳炎	0	0
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	0	0
ニバウイルス感染症	0	0

新型インフルエンザ等感染症(その1)	累計
新型コロナウイルス感染症*	93,884

*千葉県報道発表による(9月7日15時現在)

四類感染症(その2)	今週	累計(年)
日本紅斑熱	0	10
日本脳炎	0	0
ハンタウイルス肺症候群	0	0
Bウイルス病	0	0
鼻疽	0	0
ブルセラ症	0	0
ベネズエラウマ脳炎	0	0
ヘンドラウイルス感染症	0	0
発しんチフス	0	0
ポツリヌス症	0	0
マラリア	0	0
野兔病	0	0
ライム病	0	0
リッサウイルス感染症	0	0
リフトバレー熱	0	0
類鼻疽	0	0
レンオネラ症	3	50
レプトスピラ症	0	0
ロッキー山紅斑熱	0	0

五類感染症(全数)	今週	累計(年)
アメーバ赤痢	0	15
ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	0	4
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	33
急性弛緩性麻痺	0	0
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	0	24
クリプトスポリジウム症	0	0
クロイツフェルト・ヤコブ病	0	7
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	9
後天性免疫不全症候群	0	23
ジアルジア症	0	1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	2
侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0
侵襲性肺炎球菌感染症	0	36
水痘(入院例)	0	10
先天性風しん症候群	0	0
梅毒	2	138
播種性クリプトコックス症	0	2
破傷風	0	5
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	3
百日咳	0	19
風しん	0	1
麻しん	0	0
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0

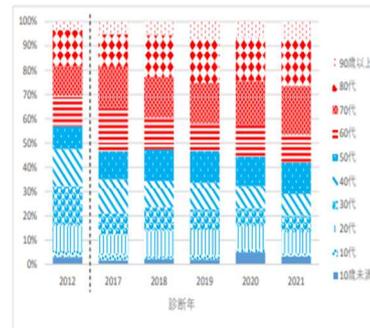
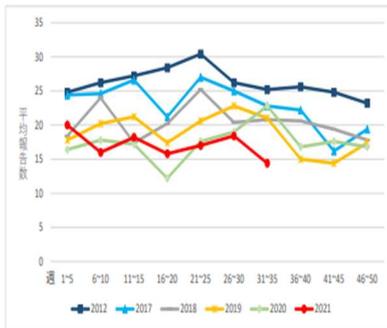
新型インフルエンザ等感染症(その2)	今週	累計(年)
新型インフルエンザ	0	0
再興型インフルエンザ	0	0

【今週の注目疾患】 結核

厚生労働省は、毎年9月24日から9月30日を結核予防週間として、結核予防に関する普及啓発を行っている。県では、2021年第1～35週に結核が599例報告されており、2012年と比較すると、報告数の減少がみられる(図1)。年齢別患者割合では、60代以上の患者の割合が2012年は43%だったが、2021年は58%と増加した。一方、30～40代の割合は32%から16%へと減少していた(図2)。

類型別では2012年および直近5年間の患者の割合は64～67%程度、無症状病原体保有者の割合が30～34%程度であり、年次による変化は見られなかった(表)。

図1：2012年および2017～2021年第35週の診断週5週間ごとの平均県内結核報告数 (N=4779) 図2：2012年および2017～2021年第35週に報告のあった県内結核患者の年齢別割合 (N=4779)



2021年9月1日に公益財団法人 結核予防会 結核研究所疫学情報センターが発表した結核年報 2020(速報値)によると、日本の2020年人口10万対結核罹患率(以下、結核罹患率)は10.1であり、2019年と比べ1.4ポイント減少した。

千葉県は結核罹患率は9.7であり¹⁾、「千葉県結核対策プラン(平成29年3月改訂)」で2020年までの目標としている10.02を下回った。近隣の都県は、東京都(11.3)、神奈川県(8.7)、埼玉県(9.2)、茨城県(10.0)であった¹⁾。なお、同センターは昨今の低水準は新型コロナウイルス感染症の影響を受けている可能性もあり、静観はできないと指摘している¹⁾。また、依然として欧米の先進国と比較すると高い結核罹患率となっており、今後さらなる感染予防や発生防止に努める必要がある。

結核予防週間に向けて、国や県では1年に1回は健康診断などの胸部エックス線検査を受検することや、結核を疑う場合は早期に医療機関を受診することを呼び掛けている。痰がからむ咳が2週間以上続く場合または微熱・からだのだるさが2週間以上続く場合には早めに医療機関を受診することが重症化を防ぎ、周囲への感染予防にもつながる³⁾。

●結核とは

結核は、結核菌という細菌が主に肺の内部で増えることにより起こる感染症である。咳、痰、発熱、呼吸困難等、風邪のような症状を呈することが多い。結核は、肺結核の患者の咳やくしゃみなどによって、空気中に結核菌が飛び散り、その結核菌を吸い込むことにより感染する。感染者のうち、約10～15%が発症するといわれる。

特に高齢者では結核を発症しても、症状が軽症のまま経過することがあるので注意が必要である。また、小児では症状が現れにくく、重篤な結核につながりやすいため、注意が必要である⁴⁾。

< 感染症情報のリンク先 >

- ・ 国立感染症研究所 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/>
- ・ 千葉県健康福祉部疾病対策課 <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/index.html>
- ・ 千葉県感染症情報センター(千葉県衛生研究所感染疫学研究室内)
<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/index.html>
- ・ 厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/>
- ・ 厚生労働省検疫所(FORTH) <http://www.forth.go.jp/>

< 結核に関する情報のリンク先 >

- ・ 1)公益財団法人 結核予防会 結核研究所疫学情報センター:年報
<https://jata-ekigaku.jp/nenpou/>
- ・ 2)千葉県:千葉県結核対策プラン
<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/tetsuzuki/documents/kekkakutaisakupuran.pdf>
- ・ 3)公益財団法人 結核予防会:結核の常識 2020
https://jata.or.jp/dl/pdf/common_sense/2020.pdf

- ・ 4)首相官邸:結核対策
- ・ <https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/kekkaku.html>

感染症情報の受信先設定について

日頃、感染症対策の推進に御協力いただきありがとうございます。

【連絡】

登録アドレスの廃止、変更等は連絡願います。

【利用にあたっての注意】

『夷隅感染症情報』の感染症の説明等は主に公的機関の情報を基に作られ、できるだけ最新で正確なものを発信するよう努めておりますが、御利用に際しては、利用機関の責任において御使用ください。また、メールの安全性についても県庁のネットワークシステムの一環として安全性の確保を図っておりますが、受信先におきましてもセキュリティー等の注意をお願いします。

※このアドレスは送信専用です。お問い合わせの際には下記まで御連絡ください。

<配信元>

千葉県夷隅健康福祉センター（夷隅保健所）

【お問い合わせ先】

isumiho3@mz.pref.chiba.lg.jp
